

(関わり合い 認め合い 高め合) 六葛西の子)



六カ所

平成24年 1月10日 (火)

No.4³

江戸川区立第六葛西小学校
校長 伊藤辰久

江戸川区西葛西 4-5-1 電話(3688)0485・Fax(3688)0510
アドレス: kasai6s@EDOGAWAKU.ed.jp

新しい年、胸を張って堂々と

校長 伊藤辰久

平成24年の年頭にあたって、新しい年、胸を張って堂々と進みましょう。新しい年、胸を張って堂々と進みましょう。新しい年、胸を張って堂々と進みましょう。

どの子どもも、冬休みの楽しい思い出と新しい気持ちで、24年のスタートにあたり、第六葛西小学校が、子どもたちにとって学ぶ喜びやわかる楽しさが実感でき、様々な活動を通じて『楽しさをいっぱい共有できる学校』になることを願って、私達教職員一同、引き続き努力を積み重ねてまいります。

「僕が苦しいのは、柏原選手の言葉です。今回の力走は、東日本大震災と原発被害で被災した故郷・福島県の強いメッセージでもあったのですね。被災されてから10か月、東日本へ本校の子供たちも心を寄せ、支援活動に合流してきました。新しい年が復興の復旧への新しい一歩を踏み出すこと、箱根駅伝でもう一つ考えさせられる中で、「何が必要か」を論議し、「一人のスターに頼らず、全員の「努力するめあて」を明確にする」という話です。一人の挫折もあり、その挫折を心の栄養として立ち上がり、厳しい練習と多くの関門を通過して過酷な試練に耐えてきました。それだけに勝利の喜びは、言葉には表せないほどのものだったと思います。「夢」の実現は、たゆまない努力の一言一言に、誰もが感動させられるのだと思います。「夢=目標」を持つ「努力すること」は私たちの生き方にも通じるこづついてくる。努力なしに「夢」は、表現しな

こと。それはいつか花を開き、結果は必ずかな保証です。「努力」こそ「夢」を実現する確かな保証です。論議されてきました。子どもが『夢や希望』を昨今、子どもの心をどう育てるかが様々な潜んでいると思いますが、だからこそ、子ども感じにくくなってきている現状にも問題があるのは、その夢を実現するためなんだ。「夢を」と夢を大いに語り合いたい。「今勉強をすることに努力しよう」「今友達を大事にする」ことにならなければならない。う。明日に夢と希望を持ち、その実現に向かう。新しい年、胸を張って堂々と進みましょう。学校となるよう努めてまいります。て努力する子どもたちをいっそう支援する。お願いいたします。今年も皆皆様方のご理解ご協力をよろしく

行事予定から

書き初め会・展示

『書き初め』は、日本の伝統文化です。5・6年生は11日、12日に3・4年生が実施します。3～6年生は、「毛筆」です。

1・2年生は、「硬筆の書き初め」です。冬休みの宿題にもなっていました。3年生以上は、各クラス3名の代表作品が「地区書き初め大会」に出品されます。お子さんが書き初め道具を忘れないようにご配慮ください。

「校内書き初め展示会」は、17日(火)～24日(火)の期間、実施します。各教室の廊下に展示されます。ご鑑賞ください。

学校公開日 21日(土)

学校公開を開催します。学習は、金曜日の時間割になります。また、給食の準備も公開します。具体的な内容については後日お知らせします。

6年生を対象にした『ケータイ安全教室』を5校時に実施します。携帯電話を使用するにあたって注意すべき点などに学習します。誰でも参観できます。

家庭学習週間

学習の定着度を深めるために「家庭学習の習慣化」はなくてはならない習慣です。本校の子どもたちの習慣化は、おおむね良好です。習慣化をいっそう図るため、16日(月)～27日(金)を『家庭学習週間』としますのでご協力ください。

1月の生活目標

生活：挨拶や言葉づかいを正しくしましょう

保健：遊んだあとは手洗いうがいを忘れずにしましょう

平24/1月行事予定

日	曜	行事予定
1	㊤	[元日]
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	㊤	冬季休業日終、PTA運営委員会
8	㊤	
9	㊤	[成人の日]
10	火	始業式、大掃除 *午前授業
11	水	書初め会(5・6)、給食始
12	木	書初め会(3・4)、きこえ通級始
13	金	安全指導、測定(6)
14	㊤	「もちつき大会」(3つくらふ)
15	㊤	
16	月	<家庭学習週間始> 全校朝会、避難訓練、測定(5)、委員会
17	火	測定(4)、ハロー先生、書初め展始
18	水	児童集会、測定(3)、職員会議
19	木	測定(2)
20	金	測定(1)、クラブ、親子リサイクル、教育相談
21	土	学校公開日、携帯安全教室(6) (金曜授業)
22	㊤	
23	㊤	振替休業日
24	火	ハロー先生、書初め展終
25	水	児童集会、研修会 *午前授業
26	木	たてわり班遊び
27	金	<家庭学習週間終>
28	㊤	
29	㊤	
30	月	全校朝会、クラブ
31	火	入学説明会、ハロ先生 *1・2午前授業

読書感想文コンクール参加作品紹介

『戦争を取材する』を読んで

六年 瀧澤 莉央

「なぜこの本を読もうと思ったのか」それはテレビで原爆や戦争の番組を見て、もっと戦争のことを知りたいと思ったからです。

それから、図書館でこの本を見つけました。この本は戦争があった国の戦場を取材して、テレビや新聞などで報道する戦争ジャーナリストの山本美香さんが実際に見た戦争の状況や子供たちの様子が書かれた本です。この本には、戦争によって家族を失い、食べ物もない、毎日空き地を転々としている子供たちもいました。また、地雷によって両足を失ったり、子供が兵士に連れられて銃を持たされ、自分の家族を殺させたこともあったそうです。今の私にはそんな生活は想像できません。

今年三月に起こった東日本大震災の時にも住む所や家族が津波に流され、ライフラインも止まってしまった東北地方の人たち、私たちは東北地方の人たちに比べると大きな被災はなかったけれど、いつまた大地震が起こるか、停電になるか不安でした。でも私たちには家族がいます。悲しいとき、つらい時、不安な時いつもそばにいてくれる家族がいてくれます。戦争は容赦なく、家族も家も食べ物も奪ってしまいます。私たちは両親に育てられ、食べさせてもらい成長してきました。戦争によって両親をなくした子供たちはこの先どうなってしまうのでしょうか。

読み終えて、今でも地球の裏側では、戦争が続いている所もあり、平和に暮らしている私たちにとってはとても

信じられません。「なぜ戦争が起こるのか」「なぜ戦争によって多くの命が奪われなければならないのか」「戦争が起こらないためにはどうしたらいいのか」今私たちの国に戦争が起こったらどうなるのでしょうか。

私は兄と弟がいます。時々意見の違いで大げんかがあります。人はそれぞれ考え方が違ってきます。でもだれもが違いを学び、相手の気持ちを考えて理解しようとすることで、けんかをすることもなくなるのではないのでしょうか。

国と国も同じだと思います。飛行機で三時間もあればたどり着く国もあります。でも国と国の距離が縮まっているのに、心の距離はどうでしょうか。これも相手の気持ちを理解し、一人一人が学んでいけば縮まって行くのではないのでしょうか。

これからの未来、世界中に戦争が起こらないよう私たちに何ができるのでしょうか。今の私にできることは何もないかもしれませんが、でもどうしたらこの世界から戦争や争いがなくなるかを考えていくことはできます。この繰り返し返される問題を解決するために、一人一人が考え悩み、会話をすることが誰にでもできることだと思います。いつか必ず誰かがその確かな答を導き出してくれると信じています。そして、私の住む地球上に平和な日々が訪れることを願っています。

漢字能力検定合格者

本校を会場にして実施した「平成23年度第2回漢字能力検定」の合格者を紹介します。

11月5日(土)	合格者	格			
定)	の合格者	格			
□3	級合格	格			
矢井	葵さん	格			
□4	級合格	格	柴田 詩音さん(5年)	加固茉莉花さん(4年)	
齋藤	公那さん	格			
□5	級合格	格			
藤井	孔貴君	格	高橋 卓也君(6年)	澤野 紗貴さん(6年)	
加藤	龍大君	格	大西 哲平君(6年)	内田 未有さん(5年)	
□6	級合格	格			
谷田	貝亜美さん	格	毛利 晃大君(5年)	橋浦 亮太君(5年)	
寒水	慶佑君	格	板良敷エイロンニコル君(5年)		
沓澤	かこさん	格	矢井光太郎君(3年)	池田 拓人君(3年)	
□7	級合格	格			
松丸	さくらさん	格	友定 咲月さん(5年)	高橋 萌香さん(5年)	
森岡	紅葉さん	格	宮崎 里織さん(4年)	西村 日汰君(4年)	
井原	千尋君	格	野中 遥生君(3年)	岩谷 賢治君(3年)	
児玉	開君	格			
□8	級合格	格			
佐藤	健太君	格	中村 雪乃さん(4年)	金子 瑛香さん(3年)	
高橋	和希君	格	山口絵梨奈さん(3年)	山中 拓哉君(3年)	
□9	級合格	格			
高橋	凜希君	格	友定 千華さん(3年)	中原 美波さん(3年)	
宮川	敬悟君	格	山田 陽太君(3年)	岩崎 寛知君(2年)	
梅木	陸君	格	坂本 紗彩さん(2年)	杉山 諄君(2年)	
藤田	陽菜さん	格			
□10	級合格	格			
秋葉	大知君	格	菊地 未和さん(2年)	菊池 友香さん(2年)	
熊原	梨乃さん	格	小泉 采生さん(2年)	杉浦 愛梨さん(2年)	
鈴木	蓮樹君	格	竹本 衣織さん(2年)	本間 凱也君(2年)	
山本	彩稀さん	格	*別会場で検定を受けました		

第57回 東京都小学校読書感想文コンクールに本校を代表して参加した子供たちの「読書感想文」を紹介します。